

金利引き下げで急増

フラット35S 前年同月比3.6倍に
2月申請

長期固定金利住宅ローン
のフラット35のうち、省エ
ネルギー性能に配慮するな
どした優良な住宅につい
て、金利を引き下げるフラ
ット35S（優良住宅取得支
援制度）の買取・付保申請
件数が急増していることが
わかった。

国土交通省によると、2
月の買取・付保申請件数は
5550件。前年同月比で
3・6倍となった。フラッ
ット35Sは、09年度2次補正
予算により、2月15日以降
の資金受け取りから制度を
拡充。当初10年間の金利の
引き下げ幅について、0・

3%から1・0%に拡大し
ており、国交省は今回の増
加について、「制度拡充に
よる効果が表れた」と見て
いる。

フラット35Sを巡っては
09年度当初予算により、金
利引き下げ期間を、5年か
ら10年に拡充。その影響な
どにより、09年4月～10年
1月の申請件数は2万61
77件と前年同期比で1・
55倍に増加していた。2次
補正による金利引き下げ幅
の拡大は更にそれを大きく
押し上げた形だ。

フラット35Sを供給する
住宅金融支援機構による
と、「金利引き下げ幅の拡
大に関する問い合わせにつ
いて、2月は消費者、事業
者を問わず多かった。3月
に入った今もその状況は続
いている」という。

なお、フラット35Sの金
利引き下げ幅拡大は、10年
12月末までの時限措置とし
て行っている。